

70歳以上の方、障害をお持ちの方のための回数券が便利です！

車内で販売中です

回数券があると
使いやすいね！



ハツ森号で行く!!宮城総合支所手続きツアー

大沢広陵地域包括支援センターでは、ハツ森号を利用したいけれど、写真付きの身分証明書を持っていない方や、敬老乗車証のもらいかたが分からない方のためのツアーを随時開催中です。

お申込み無料※、ご都合に合わせて予約制で実施します！ ※別途、ハツ森号乗車の運賃がかかります。

ツアーのお申し込みは、
大沢広陵地域包括支援センター
(電話：399-6154) まで



大沢広陵地域包括支援センター
担当 千田 由花さん

★新型コロナ感染拡大に伴う検討会の開催見送りについて

新川地区地域交通運営検討会は、これまで毎月1回程度開催してきましたが、厳格な感染症対策が求められている事態を踏まえ、開催を見送っております。

次回の開催日程は、現在のところ未定です。次回の参加を希望される方には、日程が決まりました際にお知らせしますので、お住まいの町内会長にご連絡いただくか、下記までお問い合わせください。

■運営主体：新川地区地域交通運営検討会
■支援機関：仙台市都市整備局 地域交通推進課
電話 022-214-8359 FAX 022-214-8350
Mail:tos009180@city.sendai.jp

「ハツ森号の使い方を聞いてみました」



左から、竹原 美佳子さん、遠藤 美栄子さん

ふだんの買い物や通院、愛子に住んでいる友達に会うときなどに使っています。友達からは、「家まで送ってもらえるんだね」と驚かれます。
買い物のときなど、荷物をトランクに入れてもらえることも、とても助かります。
4月からは午後の本数が増えて、3時には家に帰れるようになるのでありがたいです。
(取材は3月に行いました)

取材へのご協力ありがとうございます！



重い荷物があるときは乗務員さんに伝えましょう

見開きに3月31日までの試験運行(1回目)の実績を掲載しています。

1) 日常生活に必要な移動手段の確保 **日常生活を支える交通手段として活用**

ハツ森号は、70歳以上の方の、買い物や通院などに利用されています。
ハツ森号が日常生活を支える移動手段として機能していると考えられます。

1) 利用者の累計—479人（実人数：住民24人、その他1人）

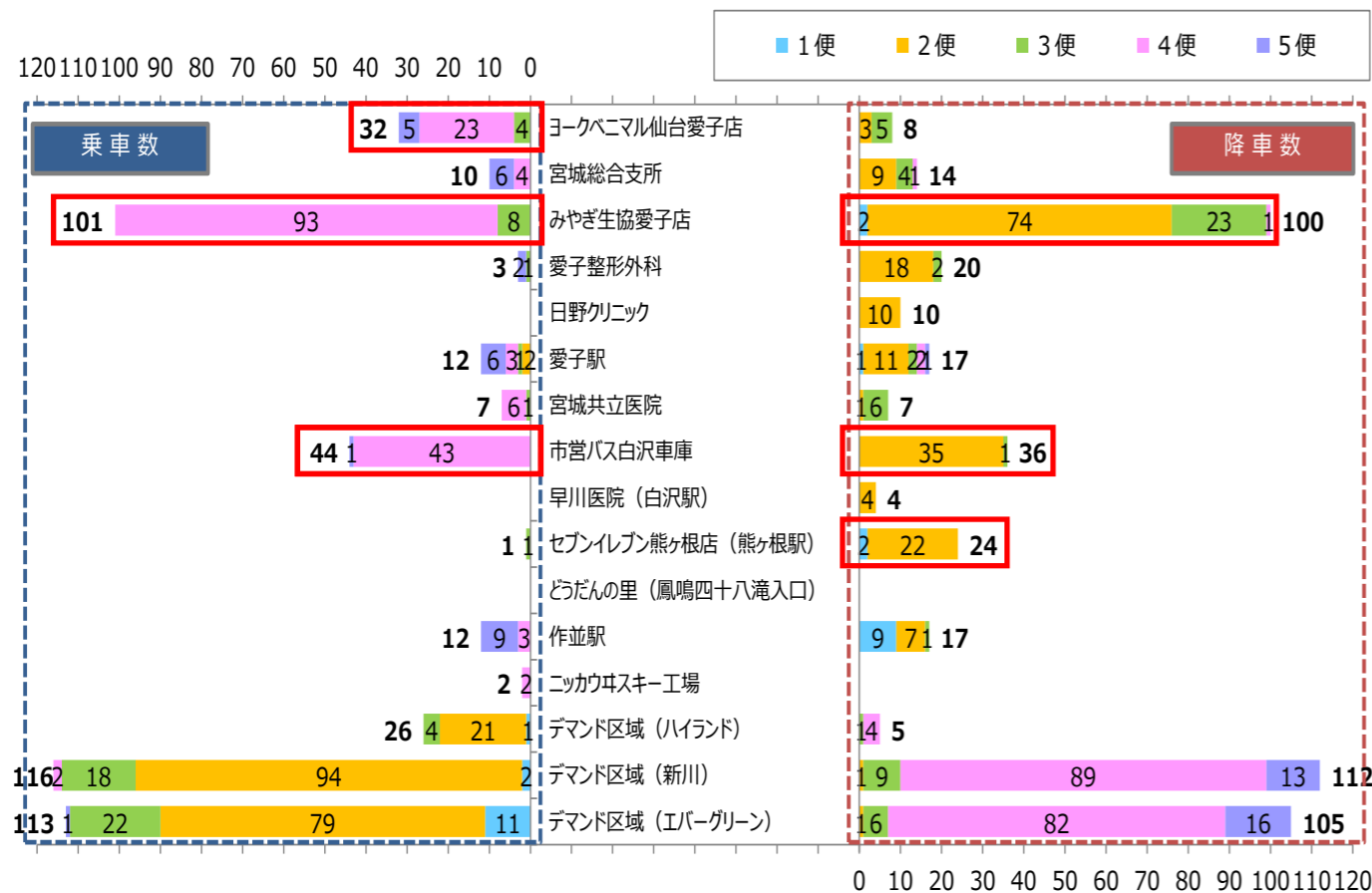
2) 運行便1便あたりの利用者数（想定：2.0人）—2.2人 **【想定を上回る】**

① 第1便の平均利用者数—1.1人	利用想定：買い物・通院
② 第2便の平均利用者数—2.5人	利用想定：買い物・通院
③ 第3便の平均利用者数—1.8人	利用想定：買い物・通院
④ 第4便の平均利用者数—2.5人	利用想定：買い物・通院
⑤ 第5便の平均利用者数—1.4人	利用想定：買い物・通院

3) 運賃の支払い方法（利用者の属性）—一般：8.8%、高齢者：91.2%

4) 主に利用される目的地—ヨークベニマル仙台愛子店、みやぎ生協愛子店、市営バス白沢車庫、セブンイレブン熊ヶ根店

乗降ポイント別利用者数の累計（3月31日現在）



駅及びバス停との接続による
一体的な交通ネットワークの形成

概ね達成。改善の余地あり。

作並駅、愛子駅、市営バス白沢車庫への乗降がみられ、ハツ森号と鉄道や路線バスとの接続による、一体的な交通ネットワーク形成に寄与しています。

1・5便は、通勤・通学に合わせたダイヤですが、他の便と比べ利用が少ない状況です。

運行内容

概ね達成。改善の余地あり。

運行内容（乗降ポイント、運行日、運行ダイヤ、予約方法等）は、利用者から評価されています。
更なる利便性向上に向け、運行内容を順次見直します。

ハツ森号に関するアンケート調査結果（回答数：164枚）

項目	内容	件数
乗降ポイント	乗降ポイントを増やして欲しい。	29件
運行日、本数	月・水・金のみ運行している便を拡充して欲しい。	14件
	休日（土日祝日）の運行も検討して欲しい。	7件
運賃	運賃を下げて欲しい。	49件

収支率

概ね達成。改善の余地あり。

収支率は、試験運行Iの目標の5.0%に対し、12.9%と目標を達成しました。

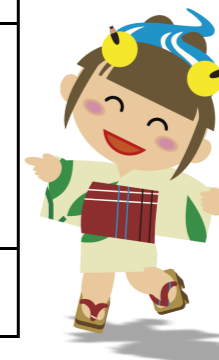
- 1) 運行経費に対する収支率—12.9%（目標：5.0%） **【目標達成】**
- 2) ハツ森号を一度でも利用した人数—25人（R1アンケートの想定では119人）
- 3) ハツ森号沿線地域の人口に対する利用率—4.4%（R2人口：565人）

区分	項目	金額	備考
収入	利用者数収入	350,200円	
	回数券販売	26,000円	元気乗り割りへの仙台市補填分を含む
	小計	376,200円	
支出	運行経費	11,400円	1本あたり
	小計	2,907,000円	通常便：218本＋追走便：37本
収支率	収入÷支出	12.9%	

次の目標

週5日運行を目指しましょう。

乗り合うことが、効率的な運行となり運行本数の増加に繋がります。「乗り合って守り育てる」ために、皆さん積極的に利用しましょう。



ハツ森号は、皆さんに利用されることで、支えられているんだね。